

第5章 重点施策

第4章で示した施策のうち、基本理念・スローガン「みつけよう マイスポーツ ひろげよう 元気な笑顔」の具現化を図り、市民が元気な笑顔に溢れて、健康で幸せに暮らすことができるよう、重点的に推進する施策を掲げます。

重点施策 1 ラジオ体操の普及啓発

ラジオ体操は、誰でも手軽にできる体操です。スポーツをはじめのきっかけづくりや、健康づくりのひとつとして、ラジオ体操の普及啓発に努めます。

正しく効果的なラジオ体操ができるよう、スポーツ推進委員との協働による「おはよう！ふれあいラジオ体操会」事業や実技講習会の充実、小中学校をはじめとした関係団体への働きかけ、教本の作成などを行い広く普及啓発に努めます。

【関連施策：第4章スポーツ振興施策】

- 1 「する」スポーツの振興⇒（1）生涯にわたりスポーツに親しめる環境の充実
 - ①ラジオ体操の推進
 - ⑤スポーツ情報の提供充実

重点施策 2 企業とのスポーツ連携の強化

本地域には、全国や世界で活躍する地元企業スポーツチームやプロスポーツチームがあります。選手やチームに関する市民への周知やジュニア世代の競技力強化のためのスポーツ指導の充実など、企業との連携強化に努めます。

市と地元企業スポーツチームとの補完関係を強化しホームチームサポーター事業を推進するとともに、スポーツ大会の充実のため、協賛・ボランティアについて企業への依頼を行います。

【関連施策：第4章スポーツ振興施策】

- 1 「する」スポーツの振興⇒（1）生涯にわたりスポーツに親しめる環境の充実
 - ⑤スポーツ情報の提供充実
- 2 「みる」スポーツの振興⇒（1）スポーツ観戦機会の充実
 - ①模範試合や指導会の開催
 - ②ハイレベルな試合の開催支援・誘致
 - ③地元のトップレベル選手・チームの紹介
- 4 「ささえる」スポーツの振興⇒（2）スポーツボランティアをはじめとする各種協力の拡大
 - ②スポーツ団体、企業等からの協力拡大
- 6 スポーツ団体等の育成・支援⇒（1）スポーツ団体等の育成・支援
 - ①ホームチームサポーター事業の推進

重点施策3 国際・全国大会推進活動に関する取り組み

第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）は、東京2020オリンピック・パラリンピックに続く大きな国際大会の一つであり、間近に一流の選手を観ることができる絶好の機会となります。開催気運の向上による大会成功への貢献、市民のスポーツへの興味・関心の向上のため、大会に関する情報の周知や出場選手の紹介、交流機会の創出などに努めます。

関係団体などと連携し、日本リーグや全日本大学女子ソフトボール選手権大会（インカレ）などのハイレベルな試合の開催支援を行い、「みる」スポーツの振興を図ることで市民のスポーツへの興味・関心を高めるだけでなく、多くの方々の関係づくりを深め、スポーツによる地域活力の向上に努めます。

【関連施策：第4章スポーツ振興施策】

- 1 「する」スポーツの振興⇒（1）生涯にわたりスポーツに親しめる環境の充実
⑤スポーツ情報の提供充実
- 2 「みる」スポーツの振興⇒（1）スポーツ観戦機会の充実
②ハイレベルな試合の開催支援・誘致
③地元のトップレベル選手・チームの紹介
- 7 東京2020オリンピック・パラリンピック開催後におけるスポーツの振興
⇒（1）東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーの継承
⇒（2）第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）などの開催機運の醸成と
関心の向上
①第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）などの開催機運の醸成
②スポーツに対する関心の向上

■全日本大学女子ソフトボール選手権大会（第56回大会優勝：園田学園女子大学）

